

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告



第 55号 2015 年 11月 25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

国民に不利益なマイナンバーは中止に！

住民登録している国民に12桁の番号を割り振り、国が情報を一元化するマイナンバー制度の番号通知が始まりました。

始動したとたん、配達まちがいや窓口でナンバーを間違っ発行するなどトラブル続きで、ちょっとしたミスで容易に他人に番号を知られるリスクと一体であることがわかります。しかも、住民票を動かさずに移住している人など、自分の番号を受け取れない人もあり、新たな出費や業務負担の増大で、地方自治体や企業から悲鳴が上がっている中で、来年1月の本格運用というのは無理があります。

厚生労働省の職員が収賄で逮捕されましたが、ビジネスチャンスと考える大企業と、国民の所得や資産をつかみ税金や社会保険料徴収などを効率よく管理したい国との、利権と癒着の深刻な実態を示しました。

大企業のもうけのために個人のプライバシーを危機にさらし、国民に不利益をもたらすマイナンバーは中止すべきでしょう。

このようにだれも望みもしない危険な制度の運用も、沖縄の米軍基地建設にしても、国民の声を無視した強引な 安倍自公政権の姿勢を許しては、私たちのいのちもくらしも守れません。

フランスでは過激派組織の同時多発テロで多数の死者が出ましたが、強硬な日本の政権の姿勢と戦争法（安全保障法）で、日本がテロの標的にならないように、ひきつづき一人一人が声を上げていかなくては！。

12月の みき通信 はお休みします。

滋賀県愛荘町「給食センター」視察に行ってきました

町議会議員 くぼたみき

愛荘町は滋賀県の中央部にあり、H18年に愛知川町、秦荘町が合併し誕生した町です。人口21000人、7500世帯、スマートインターチェンジ（高速道路の出入り口の一つ）で名古屋まで50分ほどで移動できるようになったこともあり、人口が毎年増加傾向にあります。以前の学校給食実施方法は旧愛知川町は小中ともセンター方式、旧秦荘町は自校式で小学校のみ行っていました。それぞれの施設・設備の老朽化が目立ち合併以前から建替えの計画が出ていたそうです。給食センターでは、保育園も含めた町内8校分約2700食を作っています。

愛荘町では「学校給食のあり方検討会」（町民の方で作る委員会）を設け『給食を生きた教材として有効に活用する・献立には地域の食材や郷土料理、伝統食を取り込む』など町に提言を行い総合計画へも盛り込んでいます。「自校式で行っていた給食をセンター化することへの不安な声は特になかった」との説明に、不安が出れば解消しながら計画を進めてきた様子がうかがわれました。また、愛荘町の候補地はどの小中学校からもほぼ中間地点にあり、国道沿いの公園用地で問題はなかったとのこと。

葉山町では議会で行った「皆さまのご意見をうかがう会」で、候補地の上山口小旧校舎の狭い道の安全性に、多くの不安な声が寄せられました。

葉山町は学校給食実施方法が変えようとしています。「中学校給食」実施と同時に「小学校給食」も含めたセンター調理方式にすることで小学校の給食室施設の老朽化等、数々の問題解決に繋がるとしています。愛荘町でも出されていた問題点とあまり違いはないように見えますが、実施に向けた進め方には大きな違いがありました。計画の段階から町民を交えた検討会を設けたこと。給食センターを学校給食に限らず町の全体の食育の発信地として位置づけ、「学校給食センター」ではなく町民の方みんなのための「給食センター」としていることです。

ボックスランチ方式を取った近隣市では給食の喫食率が毎月下がってしまっています。これからの「学校給食の進め方」をどのように行うか、多少時間がかかっても、町民の声を聞きながらより良い方法を検討すべきでしょう。

議会でも続けて取り上げていきます。